

武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信

Vol. 9

令和2年3月31日

発行／編集 武蔵野市健康福祉部地域支援課

令和元年度 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の報告

「武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業」は今年度（令和元年度）で5年目を迎えました。在宅医療・介護連携推進協議会も第二期の2年目となり、田原会長を中心に活発な議論が行われました。

★在宅医療・介護連携推進協議会 新委員名簿

氏名（敬称略）	所属	選任区分	氏名（敬称略）	所属	選任区分
田原 順雄	一般社団法人武蔵野市医師会	医療	*富田 尚美	武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会議	介護
天野 英介	一般社団法人武蔵野市医師会病院部	医療	小島 一隆	公益財団法人武蔵野市福祉公社	福祉
石井 いほり	一般社団法人武蔵野市医師在宅医療介護連携支援室	医療	篠宮 妙子	在宅介護・地域包括支援センター	福祉
*宮原 隆雄	公益社団法人東京都武蔵野市歯科医師会	医療	三宅 珠美	地域活動支援センター	福祉
佐藤 博之	一般社団法人武蔵野市薬剤師会	医療	荻原 美代子	武蔵野市地域包括支援センター（基幹型）	福祉
鎌田 智幸	武蔵野赤十字病院医療連携センター	医療	小尾 雅昭	武蔵野市基幹相談支援センター	福祉
田中 恭子	武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議	医療	守矢 利雄	公益財団法人武蔵野健康づくり事業団	保健
*武田 美智代	武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会	介護	日高 津多子	東京都多摩府中保健所	行政
浅野 彰	武蔵野市訪問介護事業者連絡会議	介護	森安 東光	武蔵野市健康福祉部長	行政

（*）は、今年度就任した委員です。

	日時	場所	内容
第1回	令和元年7月25日（木） 午後7時～8時30分	市役所 811会議室	平成30年度 在宅医療・介護連携推進事業の報告 令和元年度の取組み、計画等について
第2回	令和元年11月7日（木） 午後7時～8時30分	総合体育館 大会議室	令和元年度 在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況と 今後の予定について
第3回	令和2年2月6日（木） 午後7時～8時30分	市役所 811会議室	令和元年度 在宅医療・介護連携推進事業事業実施報告 令和2年度 事業計画について



活発な議論が交わされました



5部会の報告

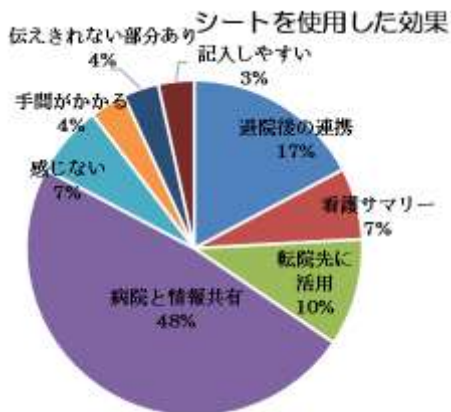
(1) 入退院時支援部会

入退院時支援部会時では、部会員に武蔵境病院と吉方病院が加わり、吉祥寺南病院とともに地域包括ケア病床を持つ病院が揃いました。医療と介護のさらなる連携を目指し、入退院時の情報連携に関すること、身寄りのない方の入院時の対応（ACP）等について話し合いました。

1. 入院時における情報連携の取組

<入院時情報連携シートの活用範囲>

入院時情報連携シート	平成30年度	令和元年度
居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業者連絡協議会の幹事事業所	市内の居宅介護支援事業所全て
活用範囲	市内の9病院	制限なし



入院時情報連携シートを活用したことで、

- ・病院と情報共有
- ・退院後の連携
- ・スムーズな転院など

85%が活用した効果を感じている。

2. 退院時における情報連携の取組

看護様サマリー：3市（武蔵野・三鷹・小金井）の看護責任者会議で、20年前に作成した看護サマリートのフォーマットが市内9病院でどのように活用されているのか調査。

受け手のサマリートの活用状況について調査→在宅生活に必要な情報はほぼもらえている。

- ・看護サマリー及びカンファレンス等、看護サマリー以外の方法での情報提供を継続する
- ・看護サマリーを多職種で共有できるように手配する

3. 身寄りのない方の入院時の対応について

「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」を基に、事例を出しながら、医療側・介護側・行政側各々の出来ることを確認し、医療と介護の連携におけるACPについて話し合いました。

4. 嚥下障害を残し在宅療養に移行する患者について

病院より、外来で誤嚥性肺炎を繰り返すため、訪問歯科で嚥下の評価、食形態等の相談があり、歯科医師会内で調整し適切な歯科医を紹介しました。かかりつけの歯科医師がいましたが訪問歯科医と連携しスムーズに交代できました。

(2) 認知症連携部会

医療・介護連携チームによる認知症高齢者支援スキームである「認知症初期集中支援事業」を、地区別ケース検討会等の場を活用して周知を図りました。また、認知症初期集中支援事業の有効性を広く介護事業関係者に知っていただくため、研修会を開催しました。

	日時・場所	出席	内容
第1回	令和元年 8月8日(木) 市役所812会議室	17名	医療・介護連携チームによる認知症高齢者支援スキームである「認知症初期集中支援事業」の概要をあらためて説明。認知症初期集中支援事業の有効性を広く介護事業関係者に知っていただくため、研修会の開催を提案
第2回	令和2年 1月23日(木) 市役所412会議室	13名	10月に開催した研修会について、参加者アンケートを基に報告。次年度の部会の方向性についてグループワークを行い、医療・介護連携による認知症高齢者の支援推進に向け、解決すべき課題等について協議。
研修会	令和元年 10月16日(水)、 10月18日(金) 市役所811会議室	合計 68名	認知症連携部会や初期集中支援事業に関する説明の後、実際に初期集中支援チームに加わった関係者によるパネルディスカッションを実施。研修後段では参加者同士でのグループワークを実施。



(研修会の様子)



(3) ICT連携部会

1. 在宅医療介護連携支援室のホームページについて



2月に武蔵野市医師会内に在宅医療介護連携支援室のホームページが出来ました。
今後、様々な情報をきめ細かくお伝えしていく予定です。

2. WEBマップ導入の検討

医療資源Webマップの導入について、先行市への聞き取り調査、同業他社の製品との比較、武蔵野市に導入した場合の課題等の検討や整理を行いました。

3. MCSの登録者数の推移

対応内容	4月実績	5月実績	6月実績	7月実績	8月実績	9月実績	10月実績	11月実績	12月実績	1月実績	2月実績
医師	68 (53/15)	68 (53/15)	69 (53/16)	69 (53/16)	69 (53/16)	70 (54/16)	70 (54/16)	70 (54/16)	72 (55/17)	72 (55/17)	72 (55/18)
歯科医師	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	42 (33/9)	43 (33/10)	43 (33/10)
薬剤師	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	78 (53/25)	79 (54/25)	80 (54/26)
訪問看護・訪問リハビリ	105 (44/61)	107 (44/63)	108 (45/63)	109 (46/63)	110 (46/64)	110 (46/64)	110 (46/64)	110 (46/64)	110 (46/64)	111 (47/64)	111 (47/64)
介護支援専門員	108 (45/63)	108 (44/64)	109 (45/64)	109 (45/64)	109 (45/64)	109 (45/64)	109 (45/64)	110 (45/65)	109 (44/65)	109 (44/65)	110 (45/65)
訪問介護	83 (47/36)	83 (47/36)	83 (47/36)	84 (48/36)	84 (48/36)	84 (48/36)	84 (48/36)	84 (48/36)	87 (47/40)	88 (48/40)	88 (48/40)
在宅介護支援センター	25 (20/5)	25 (20/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)	31 (26/5)
地域包括支援センター	13 (4/9)	13 (4/9)	13 (4/9)	13 (4/9)	13 (4/9)	13 (4/9)	14 (4/10)	14 (4/10)	14 (4/10)	14 (4/10)	14 (4/10)
行政	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)	7 (7/0)
その他	41 (20/21)	42 (20/22)	42 (20/22)	42 (20/22)	42 (20/22)	42 (20/22)	42 (20/22)	43 (21/22)	45 (21/24)	45 (21/24)	44 (20/24)
計	570 (326/244)	573 (325/248)	582 (333/249)	584 (335/249)	585 (335/250)	586 (336/250)	587 (336/251)	589 (337/252)	595 (336/259)	599 (339/260)	600 (339/261)

(4) 多職種連携推進・研修部会

令和元年度は、「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」をテーマとし、訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議と武蔵野市医師会が中心となり合同研修会を実施しました。

合同研修会は、各職種から9名を推薦推薦していただき KJ 法を使ったグループワークを行いました。参加者の ACP に対する理解度を揃えるため、事前に実施した研修会に参加された方の中から、推薦していただきました。

令和元年9月25日(水) 午後6時30分～時30分	市役所 811 会議室	角田ますみ氏 (杏林大学准教授) による ACP についての講義
------------------------------	----------------	----------------------------------



日時：令和元年10月10日(木)
後7時～9時
場所：市役所 811 会議室
内容：事例を通じたグループワーク
参加者：76名 (9名×9グループ、5名欠席)



(合同グループワークの様子)



本研修の目的

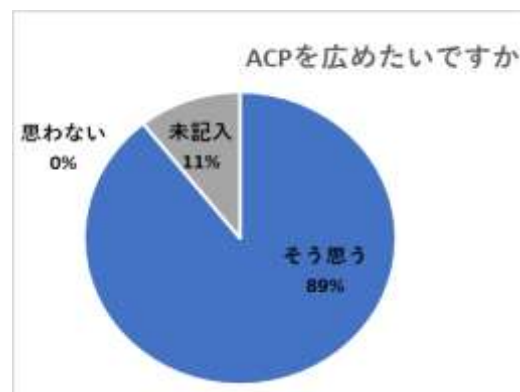
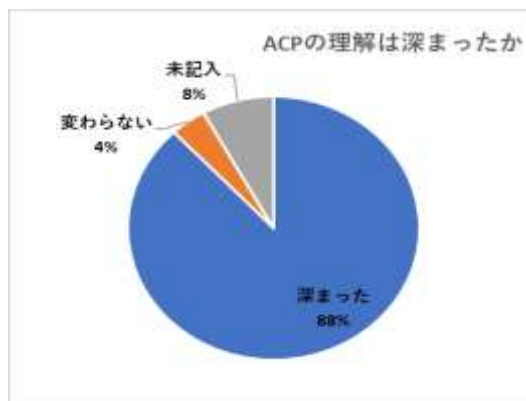
在宅生活を支える支援

そのために多職種で協働、連携することをグループワークを通じて考える。

得られたことをそれぞれの職種内でも共有する。

多職種の連携について、当日と3か月後にアンケート調査を行い、グループワークの効果について検証しました。

<当日アンケートの結果>

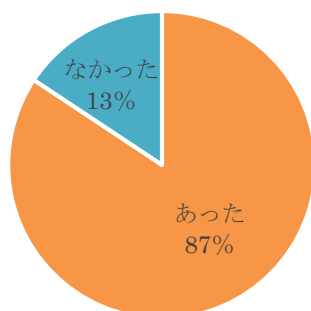


<参加者の感想>

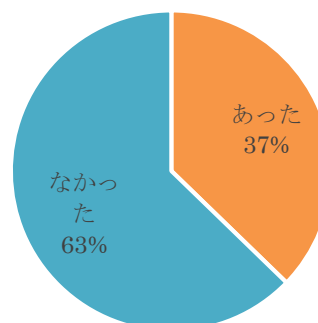
- 今日のGWを通してACPについて改めて考えることができました。
- 多職種でのGWはとても視点の広がりを感じられる。顔の見える関係作りにもなっている。
- 多職種連携会議は初めてでしたか、横のつながりがその人を考えるのにとっても重要と改めて感じました。ACPはなじみのない言葉なので、戸惑いもありましたが、有意義な時間でした。

<3か月後のアンケートの結果>

3か月間の連携の有無



3か月間のACPの連携の有無



<参加者の感想>

- ACPに関して、常に気にするようになりました。
- 市内の関係者の方の顔がわかったことで、今後相談連絡がしやすくなった気がする。
- 今後もACPにかかわる研修の継続を希望いたします。

(5) 普及・啓発部会

在宅医療・介護連携推進事業について、毎回切り口を変えて市民向けにセミナーを行っています。令和元年度は、武蔵野市にある地域包括ケア病床について基本的な内容とその役割について、分かりやすく説明しました。150名の定員を上回る、180名以上の申し込みがあり、盛況のうちに終わりました。

新型コロナウイルスの感染防止のため、来場者へマスクの配布、消毒薬による手指の消毒後の入場等の対策を行いました。

令和元年度武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会市民セミナー

住み慣れた地域で、安心して医療と介護を受けるために ～在宅への復帰を支援する「地域包括ケア病床」～

日 時 令和2年2月15日（土）午後2時～4時
会 場 武蔵野スイングホール（武蔵野市境2-14-1）
来場者数 165名

<セミナー内容>

◆武蔵野市及び武蔵境病院の地域包括ケア病床について

武蔵境病院 院長 天野 英介 氏

◆吉祥寺南病院の地域包括ケア病床について

吉祥寺南病院 院長 山下 重雄 氏

◆吉方病院の地域包括ケア病床について

吉方病院 看護部長 豊福 玲子 氏

◆地域包括ケア病床の活用事例について

居宅介護支援事業者連絡協議会 副会長 大垣 和子 氏

◆パネルディスカッション

進行：武蔵野市医師会 会長 田原 順雄 氏

登壇者：天野英介氏、山下重雄氏、豊福玲子氏、大垣和子氏

◆エンディングノートについて

健康福祉部高齢者支援課 塩島 由希子

リーフレット「住み慣れた地域で暮らし続けるために今から考えてみませんか」について、リーフレット作成後にできた、「かんたき（看護小規模多機能居宅介護）」と「地域包括ケア病床」について、チラシを部会員で作成しリーフレットと共に配布しました。

【事務局】武蔵野市健康福祉部地域支援課（在宅医療・介護連携担当） 村島・齋藤

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1941（直通）FAX 0422-51-9218

メールアドレス SEC-CHIKI@city.musashino.lg.jp